


整理番号	HT25123	分野	木造、耐震	(キーワード) 振動実験、模型制作、耐震
------	---------	----	-------	----------------------

金沢工業大学

プログラム名 先人の知恵に学ぶ地震に強い建物とは

先生(代表者)	後藤正美(ごとう まさみ) 金沢工業大学 環境・建築学部 教授			
自己紹介	私は子供の頃から、木造の建物やお寺などに興味があり、よく見学に行っていました。そして、いつの日か木造建物の強度や構造を調べたいと思い、大学で研究を始めました。皆さんには、木造建築のすばらしさをお伝えしたいと考えております。一緒に楽しく学びましょう！			
開催日時・主な募集対象	平成25年8月7日(水)	(対象)	小学生(5, 6年生)	(人数) 24名
集合場所・時間	扇が丘キャンパス 1号館前	(集合時間)	9時~9時15分	
開催会場(集合場所)	<p>開催会場: 金沢工業大学 地域防災環境科学研究所 住所: 〒924-0838 石川県白山市八束穂3-1 アクセスマップ: http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/yatsukaho.html</p> <p>集合場所: 金沢工業大学 扇が丘キャンパス 1号館前 住所: 〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 アクセスマップ: http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html</p>			
内 容				
<p>日本には、多くの木造建物が建てられてきました。法隆寺を代表とするすばらしい建物は、多くの自然の脅威に耐えてきました。このようなすばらしい建物の耐震性については、現在の科学でも解明できないことが多くあります。幾つかの模型を対象に振動台で加振しながら地震に強い建物について体験を通じて学びましょう。</p>				
スケジュール			持 ち 物	
<p>9:00~ 9:15 受付(扇が丘キャンパス1号館前)</p> <p>9:15~ 9:45 扇が丘キャンパスから八束穂キャンパスへ移動</p> <p>9:45~10:00 開講式(全体概要及び科研費説明)</p> <p>10:10~11:00 講義(地震被害例)と模型造りの説明</p> <p>11:10~12:00 講義(日本の伝統木造の紹介)と模型造りの実習</p> <p>12:00~13:00 昼食</p> <p>13:00~13:25 振動台加振実験(倒壊例と非倒壊例)と体験</p> <p>13:35~14:00 静的加力実験(壁が壊れるところを実感する)</p> <p>14:00~14:30 クッキータイム(軽食、お茶)</p> <p>14:30~15:20 地震に強い壁の模型作りと検証</p> <p>15:30~16:00 地震に強い壁の模型作りと検証及び発表会</p> <p>16:00~16:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)</p> <p>16:30~17:00 八束穂キャンパスから扇が丘キャンパスへ移動</p>			<p>・筆記用具</p> <p>・水筒などの飲み物。</p>	
			特 記 事 項	
			<p>・木を削ったり、接着剤で留めたりするので、汚れても良い服装で集合してください。</p> <p>・参加にあたっては保護者の同意(大学までの送迎は、保護者が責任を持つ)が事前に必要です。</p> <p>・昼食はこちらで準備します。</p>	

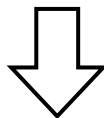
17:00～	解散(扇が丘キャンパス1号館前)	
--------	------------------	--

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	金沢工業大学 研究支援部 研究支援課・成田 武文
住所：	〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1
TEL 番号：	076-248-9504
FAX 番号：	076-248-9508
E-mail：	hiratoki@mlist.kanazawa-it.ac.jp
申込締切日：	平成25年7月17日(水)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
後藤 正美	H24~26	基盤研究(C)	24560700	地域の特徴を反映できる伝統木造軸組耐震性能評価法の開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。